allcinema

ラスト・ショー２（1990）

TEXASVILLE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　126分
初公開日 1991/08/10
公開情報 ヘラルド

【キャッチコピー】
風が吹いていた。　名状しがたい　青春という名の風が……
――南佳孝

【解説】
「ラスト・ショー」の後日談。正確には、時間はゆっくりと経ったのか、登場人物たちは８０年代の終わりにおいてまだ５０手前。つまり、１０歳ほど若返った勘定になる。ボグダノヴィッチの著書『ハリウッド・インプレッション』のあとがきによると、それまでブルース・スプリングスティーンなどバカにしていた東部のインテリの彼が、コンサートにムリヤリ連れて行かれ、その音楽にうち負かされた体験が、色濃く映画に反映されているらしい。デュアン（Ｊ・ブリッジス）の思春期の息子が聞いているのがまさにそれで、Ｃ＆Ｗを求める親父をしり目にフル・ボリュームでラジオより鳴らされるのだ。相変わらず沈滞しきった西部の町アナリーンに結局いつき、凡々と暮らしていたデュアンやソニー（Ｔ・ボトムズ）のもとに、かつて争った存在のジェイシー（Ｃ・シェパード）が娘を連れ、着飾った身なりで現われる。金持ちの夫と別居中の彼女は未だ美しく、そして身勝手だった。彼女の振舞いにまたぞろ振り回される二人だったが……。中年まっ只中のそれぞれの事情が明かされて、かなりコメディ調になっているが、青春をとうに過ぎたのだから仕方ない。なお、息子の世代は彼らが浸っていた感傷を持ち得ず、それゆえの断絶か――なんて一人合点しているのは苦しい所だが、これがアメリカの並以下の人間の考えたり、味わったりしていることなんだ――という開き直りは姑息だが理解できる。

【クレジット】

監督	ピーター・ボグダノヴィッチ	Peter Bogdanovich	
製作	バリー・スパイキングス	Barry Spikings	
	ピーター・ボグダノヴィッチ	Peter Bogdanovich	
製作総指揮	ジェイク・イーバーツ	Jake Eberts	
	ウィリアム・パイファー	William Peiffer	
共同製作	アル・ルーバン	Al Ruban	
原作	ラリー・マクマートリー	Larry McMurtry	
脚本	ピーター・ボグダノヴィッチ	Peter Bogdanovich	
撮影	ニコラス・フォン・スタンバーグ	Nicholas Von Sternberg	
出演	ジェフ・ブリッジス	Jeff Bridges	デュアン・ジャクソン
	シビル・シェパード	Cybill Shepherd	ジェイシー・ファロー
	ティモシー・ボトムズ	Timothy Bottoms	サニー・クロフォード
	アニー・ポッツ	Annie Potts	カーラ・ジャクソン
	アイリーン・ブレナン	Eileen Brennan	ジュヌヴィエーヴ・モーガン
	ランディ・クエイド	Randy Quaid	レスター・マーロウ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

クロリス・リーチマン	Cloris Leachman	ルース・ポッパー
ウィリアム・マクナマラ	William McNamara	ディッキー・ジャクソン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.